

## 単元名 表現運動(表現)

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) 表現では、その行い方を知るとともに身近な生活などの題材からその主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで踊ることができる。  
 (2) 自己の能力に適した課題を見付け、題材やリズムの特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。  
 (3) 運動に進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、友達の動きや考えを認めたり、場の安全に気を付けたりしようとする。

## 標準的な展開例

03100202\_001

【準備等】軽快な曲、CDプレーヤー、イメージカード用画用紙（八つ切り画用紙を半分にした大きさ）  
 太ペン、太鼓、学習カードなど

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 表現運動の学習のねらいと内容を理解し、学習の進め方について見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習のねらいや進め方について知る。</li> <li>★忍者に変身して楽しく踊ろう。</li> <li>○リズムにのって体ほぐしの運動をする。</li> <li>○忍者の動きをイメージカードに記入する。        「ぬき足・さし足・しのび足」        「しゅりけんを投げる」        「かべにへばりつく」</li> <li>○イメージカードを使った即興表現の方法を知る。</li> <li>○イメージカードを裏返して、床に広げる。</li> <li>○床に広げられたイメージカードをめくりながら、思いつくまま踊る。</li> </ul> <p>2～3 いろいろな忍者のイメージを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○リズムにのって体ほぐしの運動をする。</li> <li>○床に広げられたイメージカードをめくりながら、思いつくまま踊る。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人で</li> <li>・2～3人で</li> </ul> </li> <li>○2～3人グループをつくり、気に入ったカードの動きを考えて踊る。</li> <li>○ペアグループで見せ合い、アドバイスをする。</li> <li>○反省し、まとめをする。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しかったこと</li> <li>・友達のよい動き</li> </ul> </li> </ul> <p>4～5 表したい忍者のイメージで動きを工夫し、小作品にして踊って楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○忍者に変身し太鼓に合わせて動く。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・走って→止まる→見る→見る→見る</li> <li>・走って→跳んで→止まる</li> <li>・走って→跳んで→回る</li> </ul> </li> <li>○グループを作る。</li> <li>○表したい忍者のイメージやグループのめあてを話し合う</li> <li>○動きを工夫し、小作品にして踊る。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・忍者学校の日</li> <li>・忍法〇〇の術</li> <li>・赤影対青影の対決</li> </ul> </li> <li>○グループでお互いに見せ合い、アドバイスする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・忍者の絵を見せ、忍者はどうしてこんな格好をしているのか問いかけるなどしてイメージを湧かせる。</li> <li>・初回なので時間を十分にとって心と体をほぐすようにする。アップテンポな音楽に合わせて行う。</li> <li>・八つ切り画用紙を半分にしたものと太ペンを配布し児童とともにカードを作る。絵が入るとさらにイメージがよく湧く。</li> <li>・床に広げられたカードをめくり、そのカードからイメージされるものを思い付くまま踊ることを知らせる。</li> <li>・体育館の床全体にカードを裏返して広げさせる。</li> <li>・忍者のイメージが湧きやすい音楽を流す。</li> <li>・カードからカードへ移動する際は、前のカードの動きを繰り返しながら次のカードへ移動させる。</li> <li>・カードはめくって見たら、元通り裏返しておくようにさせる。</li> <li>・軽快な曲に合わせて自由に踊ったり、毎時間違うペアと自由にかかわって踊ったりすることで踊りの世界に入り込みやすくする。</li> <li>・忍者のイメージが湧きやすい音楽を流す。</li> <li>・動きを誇張し、体いっぱい使って顔までなりきって踊るよう助言する。</li> <li>・始めと終わりのポーズを決め、その間に中心となる動きを繰り返して入れ、ひと流れの動きを作ることを知らせる。</li> <li>・2時と3時はグループのメンバーを変えて行う。</li> <li>・2グループでペアグループを作り、互いに見せ合って、相手グループのよい動きや改善するよい点などについてアドバイスさせる。</li> <li>・イメージ豊かな動きをしていたり、動きの掛け合いができていたりするグループを紹介する。</li> <li>・動きの言葉掛けをする。</li> <li>・友達のよい動きを見たり、まねしたりさせる</li> <li>・いろいろな方向に向かったり、高さを変えたりするよう助言する。</li> <li>・2～4人グループ。</li> <li>・学習カードに記入させる。</li> <li>・「はじめ」「なか」「おわり」の3場面にしてお話を作らせる。</li> <li>・場面が急変するお話にしたり、スローモーションやコマ送りなどリズムを変えたりすると動きに変化が出る。</li> </ul> <p>【評】動きを工夫し、小作品にして踊る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。    【評】協力して練習したりよさを認め合ったり</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>○反省し、まとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・反省と次時のめあての把握</li> </ul> </li> <li>6 発表をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○発表する順番を決める。</li> <li>○グループごとに作品の練習をする。</li> </ul> </li>   <li>○発表をする。</li> <li>○単元のまとめをする。</li> </ul>	<p>する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よい作品の観点を知らせ、その観点を意識して練習させる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>＜よい作品の観点＞</li> <li>正面がはっきりしている</li> <li>場所を広く使っている</li> <li>楽しく精一杯踊っている</li> <li>目、首、背中、手、足、指などを意識して動かしている</li> </ul> </li> <li>【評】発表を通して、「知識・技能」を評価する。</li> <li>・感想の発表や、学習カードによる自己評価などをさせる。</li> </ul>
--	--

#### 【 備 考 】

表現運動は、自己の心身を解放し、リズムやイメージの世界に浸り、なりきって踊る楽しさを味わうとともに、互いの違いやよさを生かし合い、仲間と交流して踊る楽しさや喜びを味わうことができる運動である。

中学年の児童は、多様なものへの探求心がおう盛でエネルギーに活動する時期でもある。そのため表現に関しては現実的な題材よりも、空想の世界で未知の想像が広がる題材の方が関心も高く魅力的である。

そこで、本単元では忍者を題材として取り上げた。変幻自在に動き回る忍者は、変身したいという欲求を十分満たし、多様なとらえ方ができる内容をもっているため、自由にイメージを広げながら踊って楽しむことができる。

#### 【運動が苦手な児童への配慮の例】

- ・題材の特徴を捉えることが苦手な児童には、題材の多様な場面を絵や文字で描いたカードをめくりながら動くなどの配慮をする。
- ・動きの誇張や変化の付け方が苦手な児童には、動きに差を付けて誇張したり、急変する動きで変化を付けたりして踊っている友達の動きを見合い、真似をするようにするなどの配慮をする。
- ・ひと流れの動きにすることが苦手な児童には、気に入った様子を中心に、動きが急変する場面の例を複数挙げて動いてみるなどの配慮をする。